

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 30. 4. 25 第 196 回国会第 8 号

4 月 25 日（水）、第 8 回の委員会が開かれました。

1 学校教育法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 29 号）

- ・ 林文部科学大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

高木啓君（自民）

- ・ どのような経緯でデジタル教科書の導入が検討されてきたのか、林大臣に伺いたい。
- ・ 障害のある児童等が使用する拡大教科書等のデジタル化に関しての考え方について、文部科学省に伺いたい。
- ・ デジタル教科書の導入に当たり、研修等による教員のスキルアップが求められるが、教員自身に時間的余裕がない現状において、働き方改革と学校事務の効率化を推進する必要性について、文部科学省の見解を伺いたい。

鰐淵洋子君（公明）

- ・ デジタル教科書について、障害者をはじめとする利用者の声を反映する必要があると考えるが、文部科学省の見解及び今後の取組について伺いたい。
- ・ ICT 支援員の具体的な業務内容、配置状況及び今後の配置促進と支援拡大について、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・ ICT 環境が整備される中、子供たちの多様な学びを実現させるため、今後どのような教育を目指していくのか、林大臣の見解を伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・ デジタル教科書を使用する場合、デジタル教科書のコンテンツ費用と使用のためのタブレット端末の費用が発生するが、これらは生徒等の負担となるのか、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・ デジタル教科書の導入により、障害者が学習しやすくなるという根拠について、文部科学省に伺いたい。
- ・ 今後の教育のデジタル化の方向性について、林大臣の見解を伺いたい。